

令和7年7月29日

三田市長 田村 克也様

三田市身体障害者福祉協議会  
難聴者部会  
要約筆記三田サマリー



## 令和8年度要望書

拝啓

平素は難聴者の福祉について格別のご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

三田市における身体障害者福祉のさらなる向上を願ひまして、以下のとおり要望いたします。ご配慮いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. ヒアリンググループについて
  - ① 市内に設置されているヒアリンググループがどこにあるのか、市民に分かるように明示してください。
  - ② 補聴器店におけるヒアリンググループの説明の義務化  
補聴器を新規に購入されるときにヒアリンググループの説明がないために購入時にセットしておけば安価にできるにもかかわらず、購入後では追加できないケースが発生しています。  
補聴器店において、まずヒアリンググループの説明を必須とするように条例としてお願いします。
  - ③ 社協にて貸出しているヒアリンググループに受信機が1セットしかありません。これでは利用者が複数人いるときに使用できないのでせめて5セットは準備していただきたいです。
2. 手帳を所持しない人への補聴器購入時の助成依頼  
添付資料参照
3. 難聴児童に対する文字支援体験会の開催  
難聴児童に文字支援の活用方法を知ってもらうため、難聴児童同士の交流の

場や講座などで文字支援を体験してもらう場を設けてください。

4. 難聴児童におけるUDトークの有効性の調査

昨年、難聴児童がUDトークを有効活用していると回答をいただきましたが、難聴児童がどのように有効と感じているか調査をお願いします。

誤変換にどう対処されているのかについても調査をお願いします。

5. 難聴者関連のデリバリー型講座の開催

難聴者が企業や事業所などで仕事に従事するにあたり、難聴者について理解してもらうため、デリバリー型講座を開催できるようにしてください。

以上